

## 「Y氏の超能力実験」の可能性を考えよう

エスパーのY氏と助手のR君が「ブラックパワー」という超能力の実験をしました。それは、「Y氏の見えていないところでお客さんが部屋の中にある品物の中から一つを選び、部屋にやってきたY氏がその品物を当てる」という実験です。左がその手順です。

- ① Y氏が部屋の外に出ている間に、お客さんが部屋の中にある品物の中から一つを選びます。
- ② R君がY氏を部屋に呼び戻します。
- ③ R君が部屋の中にある品物を次々と指し示して「お客さんの選んだ品物はこれですか？」とY氏に質問していきます。Y氏はその品物がお客さんの選んだものではない場合「ちがいます。」と答え、お客さんが選んだものである場合「そうです。」と答えます。
- ④ R君がいくつか指し示した後、とうとうY氏が「お客さんが選んだ品物は、今R君が指差しているものです。」と答え、見事に当てました。

さてこの超能力の実験は、実はきちんとタネがある手品なのです。あなたはどんなタネがあると考えますか。考えつくかぎりの可能性を挙げてみましょう。

### 【あなたの考え】

「Y氏の超能力実験ロケ可能性を検証しよう」

では、あなたが挙げた可能性について検証しましょう。  
まず次のことは前提条件です。

- ・ お客様さんが品物を選んでいる間、Y氏は目隠しをして、音も聞こえないように耳栓をしています。
- ・ R君の口調はいつも一定で「お客様の選んだこれですか？」とY氏に尋ねます。

左が、R君がY氏に尋ねた品物と、その順番です。



R君「お客様の選んだ品物はこれ(はさみ)ですか。」

Y氏「ちがいます。」



R君「お客様の選んだ品物はこれ(CD)ですか。」

Y氏「ちがいます。」

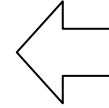


R君「お客様の選んだ品物はこれ(しおり)ですか。」

Y氏「ちがいます。」



R君「お客様の選んだ品物はこれ(ペン)ですか。」  
Y氏「ちがいます。」



R君「お客様の選んだ品物はこれ(帽子)ですか。」  
Y氏「はい、これです。」

さて、あなたの考えた手品のタネは正しいでしょうか、確認してみましょう。また、新しいアイデアが浮かんだら、書き加えましょう。

「Y氏の超能力実験目〴〵規則性を見つけよう」

では、お客さんに別の品物を選んでもらいましたので、もう一度Y氏とR君に同じ実験をしてもらいます。あなたの考えが正しかったかどうか、もう一度検証してみましょう。



R君「お客さんの選んだ品物はこれ(腕時計)ですか。」

Y氏「ちがいます。」



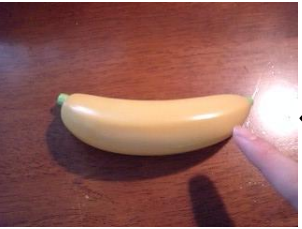
R君「お客さんの選んだ品物はこれ(目薬)ですか。」

Y氏「ちがいます。」



R君「お客さんの選んだ品物はこれ(リモコン)ですか。」

Y氏「ちがいます。」



R君「お客さんの選んだ品物はこれ(バナナ)ですか。」

Y氏「はい、そうです。」

さて、あなたの考えた手品のタネは仮説は正しかったでしょうか？

最後にコメントを出します。

- ★この超能力実験の名前を思い出しましょう。
- ★この実験は一つ目で当てることはできません。

では、手品のタネが分かるようにこの手品のやり方を説明する作文を書きましょう。

【ブラックパワーのやり方】

